

幼児の自然体験型環境学習プログラム

プログラム名	枝ってどこから来たのかな？	
対象年齢	4歳児、5歳児	
メッセージ	木には枝があり、そこに葉や実がついていることを知る	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・枝の太さや長さ、形、感触、色の違い ・発見したもので、つながって遊ぶ楽しさ ・木の太さ、高さ、形（全体像）、実や葉のついている様子 	
参加者のめやす	幼児 50人	支援者 2人 +保護者
実施時間	30分	
フィールド		
実施可能時期		
自然を感じるためのヒント		
時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
0:00	①グループごとに座る導入 ・まわりにあるものを見る ・枝を探すことを知る	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気づきを受け止め「枝」で遊ぶことを伝える ・大切な枝であることを伝え、安全に持って来れるようにする
0:03	②自分が1番長いと思う枝を探す	<ul style="list-style-type: none"> ・合図が鳴ったら、帰って来れるように伝える ・ペアで助け合えるように声をかける
0:06	③グループで枝を比べる ・1番長いのは？	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループで分かれて集まり、それぞれの枝を比べたり、違いに気づけるように声をかける ・各グループの長い人を紹介する
0:11	④グループの人で枝で丸をつくる ⑤グループの皆で丸に入れるか試す	<ul style="list-style-type: none"> ・狭くて入れない時は、別の枝を探しに行く ・簡単に入れそうなら、1本ずつ枝を減らしていく ・ふれあいを楽しめるよう、最後は「ぎゅ」5数える。



時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
0:24	⑥枝がどこから来たかを探す ↓ 木を見上げる ⑦大きな木の周りに集まる ・木の形をじっくり見る ・木の音を聞く ⑧木と一緒に歌を歌う 「大きな桜の木の下で」	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者が枝を持って、幹などに近付けていく ・幹や枝・葉・実などをじっくり見られるよう子どもの発見を受け止めつつ、話をする ・ゆっくり見られるよう、まずは座って集まる ・木の音が感じられるよう、目を閉じて聞けるようにする ・桜の木だけでなく、周囲の木も下からじっくり眺め、それぞれの違いを子どもと一緒に考える。
0:30	⑨枝を元の場所に返す	<ul style="list-style-type: none"> ⑩メッセージを伝える ・自然を感じながら、楽しい気持ちが共有できるように支援者も楽しむ
		<p>【園や家庭へ帰ってから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子で、登園する道や公園でも木に着目したり、枝だけでなく、実や花へも視点を広げてもらう。 ・園庭で、枝を集めて輪を作り、クラス全体で入る遊びを行う。枝以外のものでも輪をつくり入ってみる。 ・木の絵を改めて描き、どのような変化があるのか、また画材（絵筆、ペン）も工夫してみる。 ・枝を使った製作を行う。
準備物・教材等		<ul style="list-style-type: none"> ・合図を鳴らすもの（音の出るおもちゃor笛）

